



コミュニティの一員であること交差すること
向上や認定の機会としてのフォーカシング・ウィークロング
1月13-18日 チリ, プンタ・デ・トラルカにて(サンティアゴから2時間)
“...交差によって私たちは、互いの中に、これまでの私たちと異なるものを創造する”(ユージン・ジェンドリン)

Dr. ジャネット・クライン・スカラシップ (奨学金) 申請のお知らせ

インタラクティブ・フォーカシングが目指しているのは、「自分と違う人がそこにいる、そこでのあなたの直接的な体験へと触れる」ということへと自分を開き(allowing you)、親密なつながりを築くことです。
ジャネット・クライン

Dr. ジャネット・クラインのご家族および他の寛容な寄付者のおかげで、向上や認定の機会としてのウィークロングへの参加を補助する奨学金が活用できます。

ジャネット・クラインについて

ジャネット・クラインはインタラクティブ・フォーカシングの共同創始者です。インタラクティブ・フォーカシングでは、共感を体験するためにそれぞれの空間を作り出します。インタラクティブ・フォーカシングはフォーカシングの有意義な方法の一つです。

2010年のジャネットの死後、フォーカシング・インスティテュートとジャネットの家族は、彼女の遺したものをフォーカシングの世界に受け継いでいくために基金を設立しました。この奨学基金は、Dr. クラインの国際コミュニティに関する視点を継承しています。そのコミュニティとは、フォーカシングへの熱意を持った人誰もがウィークロングで得られるようなトレーニングができ繋がりをもてる場です。

この基金は、フォーカシングがちょうど広がりつつある、あるいはフォーカシングの新しい方法が発展しつつあるようなところでフォーカシングを普及させるために貢献し、その能力を発揮している人たちを奨学基金は支援しています。



基金設立以来、奨学金がなければ参加することが難しかった参加者 21 名に奨学金が付与されました。フォーカシングインスティテュートのウィークロングホームページで見ることのできる、2017 年 ジャネット・クライン奨学金を受けたマリア・オロスコの感謝の手紙も参照ください。

申請資格:

- フォーカシングが広がりつつある、あるいはフォーカシングの新たな応用が発展しつつあるようなところでフォーカシングを普及させるために貢献しその能力を発揮していること。
- フォーカシング・インスティテュートのメンバーであること(トレーニング中でもメンバーになっていることが望ましい)
- ウィークロングへの参加が適切、あるいは、向上のためにさらに学びを進めているか、認定の準備ができていること
- ウィークロング参加のために経済的な支援が必要なこと

ジャネット・クラインのインタラクティブ・フォーカシングへの情熱を踏まえ、インタラクティブ・フォーカシングのトレーニングを受けていたり関心を持っていたりする応募者は特別に配慮します。

奨学金への申請方法

今年のウィークロングへの参加を考えている場合、できるだけ早くにコーディネーターにあなたをこの奨学金に推薦してもらえないか相談してください。

個人の奨学金がどの程度になるかは経済的なニーズとその時の運用可能な資金によります。給付は受講料の一部減額の場合もあれば、(まれですが)受講料や宿泊費、食費を含む全額の費用支援までさまざまです。申請者はどの費用を自身でまかなえるのか、そしてどの費用を自身でまかなえないのかを明確に示す必要があります。残念なことに資金には限りがありますので、申請者すべてが奨学金を受けられるわけではありません。

締切: 2018 年 8 月 15 日までにコーディネーターからは申請者の推薦書を、申請者からは全ての書類を私達が受け取っている必要があります。9 月末に奨学金受給の諾否をお知らせします。

8月15日までに必要な書類:

1. 認定コーディネーターからの推薦書。推薦書に決まった長さはありませんが、250 語から 500 語程度のものでいいです。
2. 申請者のフォーカシングのバックグラウンドやフォーカシング普及への関心、当基金に請求する金額を説明する申請者が作成する書類。書類の長さに決まりはありませんが、よりあなたのことをしてあげることができれば、私たちもより良い判断ができます。一般的な長さは 500~700 語程度です。書類は全て英語でなければならないですが、ご希望とあれば、あなた自身の言語での書類も合わせて提出することもできます。

コーディネーターの方へ: focusing.org の [weeklong](#) 部分で見ることのできるコーディネーターへのお知らせという文所を参照ください。